

VIII

北塩原村のあゆみ

西暦	年号	おもなできごと
1888	明治21	・ 7月15日、大爆発をおこし、磐梯山が噴火する。 犠牲者は234名に達した。
1889	明治22	・ 町村制が施行され、北山村、大塩村、檜原村が 設置される。
1950	昭和25	・ 磐梯高原の一部が磐梯朝日国立公園の指定を受け る。
1954	昭和29	・ 北山、大塩、檜原3村ががっぺいし、北塩原村 となる。 ・ 大塩檜原間（村道大塩細野線と細野檜原間）の 道路が8年の工事により開通する。
1955	昭和30	・ 北塩原村初の村議会議員選挙が行われる。 ・ 喜多方と細野の間に、定期バスが運行される。
1957	昭和32	・ 雄国沼湿原植物群落が、国の天然記念物に指定 される。
1958	昭和33	・ 台風22号により（風速40mを記録）檜原地区が 大きなひがいを受ける。 ・ 雄子沢、細野地区に電話が開通する。
1961	昭和36	・ 檜原湖で越冬物資を運ぶ船がちんぼつする。 ・ 県道米沢猪苗代線が開通する。
1962	昭和37	・ 農業協同組合の広域化進む。 大塩地区が加入。檜原地区加入（昭和42）
1963	昭和38	・ 大塩スキー場が開設される。
1964	昭和39	・ 桜峠に村営放牧場が完成する。 ・ 国民休暇村「檜原荘」がオープンする。 ・ 檜原湖さん橋がつくられる。 ・ 北山児童館が開設される。
1965	昭和40	・ 裏磐梯観光会館が新築される。 ・ 農薬の空中散布が始まる。